

| 令和3年度 あさひ野小学校アクションプラン | |
|-----------------------|--|
| 重点項目 | 生徒指導 |
| 重点課題 | 相手を思いやった言葉や行動 |
| 現 状 | 「ありがとう」や「大丈夫」等、相手を思いやった言葉を自然と発することができる子供がいる一方で、自己中心的な言動から、友達とのトラブルになってしまうケースもよく見られる。そこで、重点課題を「相手を思いやった言葉や行動」と設定し、相手を思いやった言動を実行できる子供が増えるよう取り組む。 |
| 達成目標 | 『ありがとう』『どうぞ』等、相手を思いやった言葉遣いや行動をしている」の自己評価でB以上が85%以上 |
| 方 策 | <ul style="list-style-type: none"> ① 委員会の常時活動を通して、心が温まる言葉や友達からかけてもらってうれしかった言葉を視覚的に捉えられるような形で全校に紹介し、相手のことを思いやった言葉遣いを意識できるようにする。 ② 各教科、道徳科、特別活動等において、適切な言葉遣いができるように指導する。 ③ 帰りの会で友達のその日のよい所を発表したり、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた学級活動を行ったりするなど、学級の実態に合わせて、相手を思いやった言動が広がるよう取り組む。 |